

別紙

リョービミラサカ株式会社温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミラサカ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三次市三良坂町皆瀬75

(3) 業種

2453 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成18（2006）年度を基準とする平成23（2011）年度から平成24（2012）年度までの2年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成18年度	目標年度		計画期間の実績			
		上段：見込量(b) 平成24年度	下段：削減率(c)	(上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))			
エネルギー起源CO ₂	43402	40797	43538				
非エネルギー起源CO ₂		-6	-0.3				
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計	43402	40797	43538				
温室効果ガスみなし排出量		-6	-0.3				
実績に対する自己評価	受注の変動により、本来の稼働が維持できなかった						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成18年度	目標年度		計画期間の実績			
		上段：目標(b) 平成24年度	下段：削減率(c)	(上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))			
エネルギー起源CO ₂	1.15	1.08	1.26				
非エネルギー起源CO ₂		-6	-9.6				
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量							
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	0.46	0.43	0.44				
実績に対する自己評価		-6	4.34				

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油の原単位を6%削減	1、加水燃料利用による重油の削減 2、天然ガスへの切替検討
2	電気使用量の削減	電気の原単位を6%削減	1、省エネタイプの照明の採用 2、電気保持炉の計画更新 3、省エネ・高効率タイプの設備採用 4、照明、冷暖房の削減、適正使用 5、インバータコンプレッサーの採用
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減	リサイクル率を90%以上に向上	1、焼却、廃棄物のリサイクル化推進
2	経営計画の達成	生産性の20%向上	1、不良率の向上 2、負荷時間当りの良品数の向上 3、機械休転時間の短縮 4、初期管理活動の充実 5、技術、技能の伝承育成
3	社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する	1、工場周辺のクリーン作戦の実施 アルミ缶回収による福祉機材の寄贈

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。